

# 環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 41 2018年 3月 1日 発行



## “エコな～らライフ宣言” 植樹ツアーを実施しました



「エコな～らライフ宣言」は、地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>をみんなで少しでも減らそうという、平成20年度から始めた取り組みです。家庭で取り組める省エネ行動を宣言していただき実践していただくことで、CO<sub>2</sub>削減につなげていきます。宣言された方には、毎年実施している植樹バスツアーにご案内し、植樹をすることでさらに地球温暖化防止に貢献していただいています。今年は15名の方にご参加いただき、平成29年11月25日（土）に、昨年を引き続いて大和郡山市立里山の駅野外活動センター「風とんぼ」にて植樹バスツアーを実施しました。

今回は赤と白のハナミズキ、計5本を植樹しました。参加者の中には初めて参加される方もいればピーターの方も。皆さま一生懸命に取り組まれました。将来、赤と白の花がきれいに咲いて道ゆく人々の目を楽しませてくれることでしょう。

植樹の後は、ピザ作り体験です。野外活動センターの職員の方にもご協力いただき、参加者自ら生地をこね、オーブンなどの電子機器を使わずに手作りの釜と炭火で焼き上げました。子ども達はそれぞれ具材の乗せ方にこだわり、ハムやトマトなどの具材をきれいに並べていました。ピザの焼き上がりはチーズがとろとろ、生地はふわふわのさくさくで大好評でした!

ピザを食べた後は自然体験教室として、アスレチック体験と折り染体験に分かれて活動しました。アスレチック体験では、大人も子どもも大自然の中、様々なアスレチックを楽しみました。当日は天候に恵まれ、運動には最適な気候でした。一方、折り染体験では、紙に3色の色水で自由に色づけ。紙を広げたときには「きれい!」と感嘆の声が。最後は出来た紙でポケットティッシュケースを作りました。どちらの体験も皆さまいきいきと取り組まれており、ご満足いただけただようです。



ハナミズキの植樹



ピザづくり



折り染体験

CO<sub>2</sub>排出量削減のためには、各自ができることに1つずつ取り組み、継続していくことが大切です。当フォーラムが推進する「エコな～らライフ宣言」の取り組みの1つ1つの効果は決して大きなものではありませんが、みんなが取り組めば大きな力となります。まだ宣言されていない方は、是非ご賛同頂ければと存じます（下記HP参照）。また、今回ツアーにご参加されました皆さまには、植樹にご協力いただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。  
(事務局)

「エコな～らライフ宣言」はホームページから宣言できます

「URL : <http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/ecocheck.html>」

皆さまからの宣言をお待ちしております!



# エネルギー分科会 エコ・クッキング教室の開催



1月17日(水)に、エネルギー分科会主催の「エコ・クッキング教室」を開催しました。環境問題での身近な取り組みとして、毎日の生活に欠かせない「食べる」の部分で環境を考えてみようという内容です。18名が参加され、大阪ガスによる講義と料理実習に熱心に取り組まれました。



エコ・クッキングの講義

講義では、「食べる」ことにおいて「買い物」「調理」「食事」「片づけ」の4つの場面で、私たちが環境を考えてできることがあると学びました。例えば、「買い物」なら地元でとれた旬のものを選ぶことで、運送に使うエネルギーや温室で使うエネルギーなどを減らすことができます。



料理実習の様子

料理実習では、「シャブシャブ豚肉のアスパラ巻」や「かぼちゃのクロック」など計6品を調理。盛りだくさんの内容でした。それぞれの料理のプロセスにおいて、例えば、野菜は皮ごと使って無駄をなくす等、環境を考えた一工夫が込められていました。また、あと片付けでも油污れをウエス(汚れを拭き取るための布)で拭き取ったり、新聞紙で作った小さなゴミ入れで生ごみの水分を吸わせたりするなど、環境負荷を減らす工夫を教わりました。

毎日の生活の中でできることがまだまだたくさんあると、改めて実感させられました。

(大阪ガス 和氣)

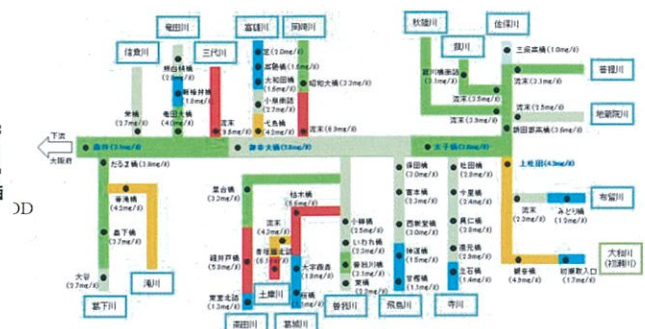
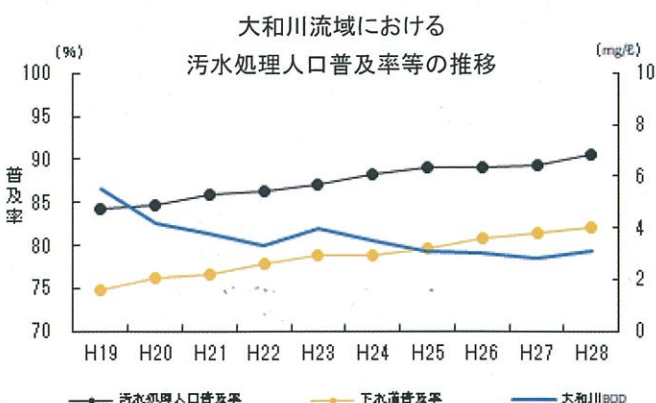
# エコライフ分科会 「大和川きれい化」推進プロジェクトについて

「きれいに暮らす奈良県スタイル」行動計画が平成28年12月に策定されました。今回はその計画の3つの重点プロジェクトの1つである「大和川きれい化」推進プロジェクトについて紹介します。大和川の水質は、左下の図に示すように污水处理人口普及率の上昇に伴って改善しており、全体としては環境基準のBOD 5.0mg/Lを下回っていますが、依然として全国ワーストランキングでは上位を占めています。

大和川の清流復活への目標として、污水处理(下水道、合併浄化槽)人口普及率を平成27年度の89.2%から平成37年度には95.8%に、そのうち下水道普及率は平成27年度の81.5%から平成37年には89.7%にする目標を立てています。

大和川の支川について、各地点でのBOD測定値の分布を示したのが右下の図です。赤の部分が環境基準(5.0mg/L)を上回っている支川です。そのうち、高田川、土庫川、葛城川の水質改善・きれいな水辺空間づくりに向け、県、流域の市町(大和高田市・広陵町)、自治会等で構成する「大和川重点対策支川部会(大和高田・広陵エリア)」が昨年12月に設立されました。エコライフ分科会はこの部会と連携・協働して、下水道接続の促進や浄化槽の適正な維持管理(法定検査、清掃、保守点検)の実施などの啓発活動をはじめ、「食べ物を残さない」「食器を洗う前に汚れをふき取る」「廃油などを流さない」などの呼びかけやアクリルタワシの普及・啓発など、市民生活のソフト面での対策推進に協力していきたいと思ひます。

(奈良環境カウンセラー協会 橋本)



大和川水質マップ(平成28年度 BOD75%値)

## 資源活用分科会 第2回施設見学会の開催



12月1日(金)に、長岡京市神足にある関西最大の食品廃棄物リサイクルセンター「エコの森京都」(飼料化ライン)を訪れました。食品リサイクル法制定を受けて平成15年に稼働し、関西一円の食品メーカー、コンビニ、スーパー、ホテルなどの事業者から1kg15~25円の処理費で食品廃棄物を引き受けて飼料化しています。

1日に約80tもの食品廃棄物を再生処理しており、出来上がった飼料は鶏と豚の飼料として出荷されています。今回見学した規模の工場は、全国では北海道・東京・京都の3か所にあるそうです。

運び込まれた原料となる食品廃棄物の中には、賞味期限がずっと先でまだ食べられるものなど、もったいない商品が大量にありました。また、扇風機の原理で分別する仕組みや天ぷらの原理で脱水する方法にはたくさんの知恵や工夫が盛り込まれており、驚くばかりの見学でした。「食品ロス」の現実を目の当たりにし、「豊かさ」の裏の顔を垣間見て大いに考えさせられました。

(市民生活協同組合ならコープ 諸熊)

### <リサイクルの流れ>



袋が破られ、プラと原料に分別されます



原料と油を混ぜて天ぷらの要領で脱水されます



エキスペラ(搾油機)で残った油を搾ります



粉碎し、ふるいで異物を除去します

## 自然環境分科会 自然体験教室の開催



### <自然体験教室「稲刈り体験」>

11月3日(金)に、明日香村稲淵の棚田で稲刈り体験を開催しました。7家族22名が参加され、収穫の喜びを満喫しました。

地元のお母さん方が作って下さった黒米カレーで昼食を済ませたあと、「NPO法人明日香の未来を創る会」理事長の今西さん(元 理科教師)による「棚田の自然体験教室」が行われました。棚田の植物、生き物を手にして、これらが棚田の保全にいかに関わっているかについて説明していただきました。この場所にも現れたアサギマダラの話や、お土産に持って帰っていただいたムクロジの実の話はとても興味深く勉強になるお話でした。



棚田での稲刈り体験

(NPO 法人明日香の未来を創る会 打越)

### <自然体験教室「七草を見つける 七草粥を食べる」>

1月7日(日)に、生駒市高山の同志社大学経済学部「里山きゃんぱす」にて開催し、13名の方が参加されました。前夜に降った雪も消え穏やかな気候となり、絶好の観察会日和となりました。まずは、竹を使って箸やスプーンなどの食器づくりです。何度も参加している子どもたちは、のこぎり、なた、ナイフを上手に使えるようになっており、繰り返し体験することの大切さを感じました。続いて、葉の形や香りなどの特徴をしっかりと覚えながらの七草摘み。天候のせい、七草のうちゴギョウだけが見つからず、代わりにチチコグサモドキを使っての七草粥づくり! 1年の健康を願いながら美味しくいただきました。



畑での七草摘み

(自然観察指導員奈良連絡会 有山)

## 《やまと菜の花ねっと》 ～菜の花だより～

### 「天理・宇陀フィールド」

#### 歴史の道の景観保全（山の辺の道・景行天皇陵前）

山の辺の道沿いにある天理市渋谷町、景行天皇陵前のフィールドでは、夏期に栽培した綿花が、道行く人々に癒しと話題を提供して大活躍しました。「なら橘プロジェクト」の管理地では、新たに約1000㎡で大和橘の植樹とともに空いた場所に菜種を播種しました。山の辺の道沿いは、今年の春も黄色い菜の花に彩られることと思います。歴史的風土特別保存地区にふさわしい景観維持のためにも、今後も頑張っていきたいと思っています。この活動はきっと地元の子どもの体験学習にもつながることでしょう。



天理市渋谷町の新しいフィールド

### 「葛城フィールド」（エコ葛城市民ネットワーク）

#### 小学校で一連の環境学習

10月14日（土）に、葛城市立新庄小学校4年生が東大寺に菜種油の奉納を行いました。この菜種油は、同児童が3年生のときの10月に環境教育として学校近くの畑に植えたもので、除草作業や追肥などを行って翌年5月に収穫・搾油したものです。子どもたちは、菜種油が出来るまでの一連の作業を体験することで、資源の循環利用やものの大切さを感じてくれたことでしょう。11月には、来年の収穫に向けて、3年生が菜の花の植え付けを行いました。今回は苗の生育があまり良くなく小さい苗でしたが、子どもたちは1本1本丁寧に植えてくれました。

また、12月20日（水）には、同小学校の4年生が廃食油を再利用したキャンドルづくりを行いました。色付けして固めた廃食油とジャムなどの空きビンを利用した特製のキャンドルです。色をきれいに層にする子どもがいる一方、独創的に色を並べる子どももいて、個性あふれる様々なキャンドルが出来上がりました。最後は、子どもたちが自分たちで収穫・搾油した菜種油で揚げたサツマイモスティックを食べました。



東大寺への菜種油奉納



菜の花の植え付け



キャンドルづくり

### 「桜井フィールド」（さくらい菜の花プロジェクト）

#### 記紀・万葉の道めぐりエコツアー

東京海上日動火災保険（株）とNPOが協働で環境保護活動をサポートする「GreenGift 地球元気プログラム」の一つで、ウォーキングと菜種油奉納や味噌作りなど体験する「記紀・万葉の道めぐりエコツアー」（企画・宙塾）。昨年2月は奈良市、4月は天理市、そして今回は当フィールドを中心としたプログラムで、10月15日（日）に開催しました。

雨にも関わらず、約50名が参加。集合地の近鉄大福駅から徒歩約10分で吉備の菜の花畑に到着し、菜の花プロジェクトの説明の後、サツマイモ掘りを開始しました。雨靴、雨合羽で笑い声とともに子どもと大人の共同作業となりました。

その後、お正月に向けて干支のイヌづくりのクラフト体験をしてから、安倍文殊院に向けて出発。傘をさしながら約1時間歩き、お寺に到着後、燈明に使う菜種油を奉納しました。



菜の花畑でのサツマイモ掘り

## 生ごみリサイクル講習会

1月27日（土）に、吉備の農業ハウスで吉田征八郎氏（NPO 法人グリーンスポーツ奈良理事長）を講師にお迎えして、生ごみを有機肥料に変えるコンポストをダンボールでつくる講習会を開催しました。生ごみを焼却するのはコストが高く、自治体の財政を圧迫し地球温暖化の原因をつくることとなります。しかし、生ごみを資源として肥料化すれば土も肥え作物も育ち、また、焼却ごみを減らせることでCO2削減にもつながり一石二鳥です。当日は13名が参加され、ヤシ殻チップやモミ殻燻炭などを入れたダンボール製コンポストをつくりました。



講習会の様子

## ～橘だより(なら橘プロジェクト推進協議会)～

### 第4回大和橘収穫祭

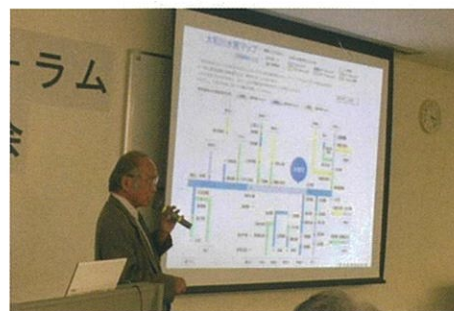
12月3日（日）に、第4回目になる大和橘収穫祭を大和郡山市三の丸会館で開催しました。今年の収穫祭には、当プロジェクトを科学技術の立場から支えてくださっている、富研一先生の指揮による弦楽アンサンブルで華が添えられました。当日は関西で活躍されている若手管弦楽奏者20名の皆様にボランティアで演奏していただき、重厚な管楽器の音色を生で聴くという機会に恵まれました。大和橘が紡ぐ縁によって、多彩な世界が広がることは何よりの楽しみで励みになります。会場には大和橘を使った「橘こしょう」「ポン酢」「化粧品」など、新しい商品開発の様子も展示しました。ちなみに、今年度の大和橘の収穫量は、柑橘類の裏年という悪い条件にもかかわらず約600kgとなり、毎年着実に収量は増えています。来年度は1tを目指したいと思います。



収穫祭でのウェルカムコンサート

### 自然環境セミナー（奈良県環境県民フォーラム 設立20周年記念大会 第2部）

奈良県環境県民フォーラムは昨年で20周年を迎え、10月1日（日）に設立20周年記念大会を行いました。自然環境セミナーとの一体開催ということで、第1部の基調講演後、第2部では自然環境セミナーを開催し、現自然環境分科会メンバーの大石 正 教授（奈良女子大学名誉教授）から、県内各団体のこれまでの取り組みの紹介と、今後のフォーラムのあり方として「産・官・学・民」の連携強化が大切とのお話がありました。その後、「環境教育」「エネルギー」「観光・景観・産業」の3つをテーマに、各テーブルに分かれて意見交換を行うワールドカフェ形式の交流会を行いました。



大石先生によるフォーラムの活動紹介

参加者からは「菜の花や棚田を通じて環境だけでなく、奈良の歴史を子どもたちが学ぶことがすごいと思います」（環境教育）、「再生エネルギーについてもっと勉強しなくてはいけないと思った」（エネルギー）、などたくさん感想が寄せられました。各テーブルの共通課題として、「いかに次世代の担い手をつくるか」が挙げられました。今後の活動の参考にしていきたいと思います。



「環境教育」テーブル



「エネルギー」テーブル



「観光・景観・産業」テーブル

# 奈良県環境県民フォーラム 設立20周年記念大会の開催

平成9年8月から活動を開始した当フォーラムは、平成29年で20年目を迎え、そのことを記念して昨年10月1日(日)に設立20周年記念大会を開催しました。

第1部には基調講演として、「地球環境の現状と環境に配慮したまちづくり」と題して認定NPO法人環境市民 環境市民代表理事 杵本 育生 様(写真右上)と、「市民ネットワークによる環境草の根活動の推進」と題して天理大学教授 佐藤 孝則 様(写真右下)のお二人にご講演いただきました。

杵本様には海外の事例なども交えて世界から見た環境問題について、また佐藤教授には地域に根付いた環境活動についてご講演いただき、今後の活動にとって有意義な講演会となりました。

第2部は、自然環境分科会の自然環境セミナーとして、「奈良県の自然環境の現状とこれから」と題し、奈良女子大学名誉教授 大石 正 教授よりお話があった後、ワールドカフェ方式で交流会を行いました。

短い時間ではありましたが、多くの団体と広く交流する機会となりました。今後とも当フォーラムの活動にご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



杵本様による講演



佐藤様による講演

(事務局)



## 平成29年度総会・交流会のお知らせ



日時：平成30年 4月18日(水) 午後

場所：奈良県文化会館 集会室A・B

会員の皆様には詳細は追って連絡いたします。

募集中!!

## エコな〜らライフ宣言



- ・CO2ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です!
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう!

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 環境情報サイトエコならの宣言webサイトから宣言  
(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)

### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ!」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネ、省資源研修、エコクッキング教室など)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp